

質疑回答書

1 調達案件番号 124270001100001100220230005-00

2 工 事 名 旧長南町役場庁舎解体工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。

質 疑 事 項	回 答
<p>1-1) 特記仕様書 アスベスト含有機材を使用する建築物 の解体工事に係る特記仕様書 アスベスト含有分析<9.1.1(d)> ・行う(分析結果は監督職員に提出す る) ※行わない とありますが、M-5~10図面及び設計書 No M-21には下記の表記があります。 どちらが正しいでしょうか。 図面M-5~10 ・冷温水、冷却水配管撤去に伴い、フ ランジパッキンの石綿含有分析調査 を行うこと。 ・ダクト撤去に伴い、フランジパッキ ンの石綿含有分析調査を行うこと。 ・既設雨水配管エルボ部分の保温材は 石綿含有分析調査を行い、適切に処 理すること。 設計書 No M-21 3)-1 検体採取分析調査 検体採取費 3検体 1式 分析調査費 3検体</p>	<p>⇒「◎行う」(分析結果は監督職員に提 出する)が正です。</p>
<p>1-2) A-19外壁磁器タイルは既存類 似品と思われますが、入札時点の参 考品番を教えてください。</p>	<p>⇒INAX ピュアM50mm三丁掛けです。</p>
<p>1-3) A-19カーテンBOXの詳細図をく ださい。特記仕様書には溝型*深さと ありますが、寸法にマークがありま せん。</p>	<p>⇒別紙1図面のとおりです。</p>

<p>1-4) A-19新設腰壁厚をご指示ください。又、ケミカルアンカーの性能確認試験は無いものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>1-5) A-11 廊下斜線部はLGS+化粧石膏ボードのみやり替えて宜しいでしょうか。又、A-A断面図のF1+の仕上げは何でしょうか。ご指示ください。</p> <p>2-1) アスベスト含有建材を使用する建築物の解体工事に係る特記仕様書のなかの、 1.3 アスベスト含有吹付材の撤去※行う（適用範囲 トイレ内天井）とありますが、施工箇所は1回多目的トイレ天井アクリルリシン吹付及び2階男子便所、女子便所の天井材耐水合板 t = 5.5でよろしいですか。</p> <p>2-2) 設計書 A-15 吹付石綿除去工事のなかで、 A-18 3) 工事費 石綿除去作業 手けれん除去810.00㎡とありますが、上記1.3 アスベスト含有吹付材の撤去の範囲と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>2-3) A-18 3) 工事費 粉じん飛散防止剤3833.00㎡とありますが、どの範囲でしょうか。</p> <p>2-4) A-20 6-3 粉塵濃度測定費 粉じん測定 吹付材 79ポイントとありますが、どの位置でしょうか。</p> <p>3-1) 図面M-5の特記事項に【冷温水発生機及び冷却塔の処分は、製造メーカー引取り処分】と記載がありますが、理由をご教示ください。</p> <p>3-2) 設計書 No, A-5に【連絡廊下棟 既存杭引抜き 1式】と記載がありますが、図面（杭伏図）に記載がございませんので、杭種、径、長さ、本数をご教示ください。</p>	<p>⇒壁厚は150mm、ケミカルアンカーの性能試験はありません。</p> <p>⇒廊下斜線部はLGS+化粧石膏ボードの解体です。復旧は無し、FL+の仕上げは現況のままとなります。</p> <p>⇒誤記です。（トイレ天井内は無し）</p> <p>⇒天井のバーミックス吹付、ミクライトAP吹付部分が範囲です。</p> <p>⇒上記天井材撤去（手けれん除去810㎡）の作業周囲が範囲です。</p> <p>⇒天井のバーミックス、ミクライトAP吹付撤去作業周囲が範囲です。</p> <p>⇒冷温水発生器を解体処分とする場合、本体に含まれるアスベスト含有機材（パッキン類）及び本体内の臭化リチウムは産業廃棄物処理とし、製造メーカー引き取り処分としました。</p> <p>⇒PHC杭Φ300-9m 13本</p>
---	--

<p>3-3) 設計書の【石綿除去作業 810.0m²】と記載がありますが、施工範囲が分かる資料等の開示をお願いいたします。(例: 図面に範囲記載、対象建材名の開示)</p> <p>4-1) 仮囲いなどについて 図A-06 配置図 仮囲い成形鋼板H=3mは解体建物北側、南側の他に添付図①の通り、旧浄化槽・キュービクル解体撤去範囲を含めて考えてよろしいでしょうか。</p> <p>4-2) 敷鉄板について 図A-06 配置図 敷鉄板の範囲は添付図①の通りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>4-3) 解体養生について 図A-06 配置図 中央公民館側と新庁舎、庁舎分館側は防音パネルなどの養生としますか。 また、防音パネルなどの養生が必要な場合、ご指示ください</p> <p>4-4) 既存庁舎平屋・庁舎分館の解体について 図A-06 配置図 図A-011 1階平面図 図A-016 2階平面図(新庁舎・庁舎分館接続図) 作業制限は無しと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>4-5) 2階接続口工事区画について 図A-06 配置図 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 軽鉄スタッド下地石膏ボード厚12.5両面張りがあります、この部分の改修工事期間中の止水ラインがありません。 軽鉄スタッド下地石膏ボード厚12.5両面張りの代わりに添付図の様に作業スペースを確保した上で部屋内側にALC t=100 縦張り EP塗装+上下L-65x65x6 取付ピース共+LGS 65 PB 12.5+12.5と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒天井伏図の記載どおり バーミックス吹付及びミクライトAP吹付範囲です。</p> <p>⇒旧浄化槽・キュービクル解体撤去範囲は含まれておりません。</p> <p>⇒はい。</p> <p>⇒防音シートです。</p> <p>⇒来庁者及び執務に支障がある場合は、作業を制限します。</p> <p>⇒ブルーシート養生程度です。</p>
---	--

<p>4-6) 連絡廊下接続口解体・改修について 図A-16 2階平面図（新庁舎・庁舎分館接続図） 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 廊下側の仮間仕切（扉付）は添付図の通りと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-7) 改修外壁タイル張りについて 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 図面には外壁磁器タイル張りがありますが、せっ器質タイル・二丁掛、LIXILフェイブOX程度と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒INAX ピュアM 50mm三丁掛け</p>
<p>4-8) カーテンBOXについて 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 設計書 No R-5 カーテンBOX集成材OPとありますが設計書 No R-5に記載がございません。 W150xH50xL4,240 t25程度と考えて計上してよろしいでしょうか。 また、OPは下地調整を含む、糸巾250程度、L=4,240と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒W150×H75×L4,240 24 t で、OPは下地調整を含む、糸巾250程度、L=4,240です。</p>
<p>4-9) 窓枠、窓台について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 設計書 No R-5 集成材 t=25 OPとありますが設計書 No R-5に記載がございません。 W150xL1,900が2か所、W150xL4,240が1か所程度と考えて計上してよろしいでしょうか。 また、OPは下地調整を含む、糸巾200程度、L=8,000と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-10) 資料室壁について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 設計書 No R-5 図面にPB12.5 GL工法 複層塗材Eとありますが、設計書 No R-5に記載がございません。 新設壁36.1m²程度と考えて計上してよろしいでしょうか。 また、この壁はスラブ下（H=3,650程度）までと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒PB12.5GL工法は無し、既存左官面は複層塗材E（ローラー仕上）です。</p>

<p>4-1-1) アルミ製建具下LGSについて 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 A-A断面図にスタッド65下地とありますが、計算書にはスタッド65の記載がございません。 計算書の壁下地LGS75 12.4m²がスタッド65を含めた面積とし、65を75と読み換えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-1-2) 開口補強について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 9) でLGS75とした場合、外壁側開口補強及び廊下側開口補強共にC-75x45x15x1.6程度と考えてよろしいでしょうか。 また、9) でLGS65を採用した場合、外壁側開口補強はC-65x30x10x1.6程度と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-1-3) 長尺塩ビシートについて 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 図面に記載の長尺塩ビシートt=2.0張りは東リ フロアリューム マーブルNW程度と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-1-4) 胸像移設について 図A-20 付属棟接続口改修図、胸像詳細図 胸像断面図に玉砂利敷とありますが、那智石(黒) φ20~30 t=150程度と考えてよろしいでしょうか。 また、玉砂利の下は客土t=150程度と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。(不織布敷き)</p>
<p>4-1-5) 杭撤去後の埋戻し材について 設計書 No A-5 図C-01 杭伏図 杭撤去後の埋戻し材料をご指示ください。 また、図面上杭本数98本とありますが、104本記載されております。104本を正として考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒貧配合セメントミルク[水[W]/セメント[C]][50kg]/m³⇒150%]+[ベントナイト10kg/m³]104本です。</p>
<p>4-1-6) 連絡廊下棟及び浄化槽下の杭について 設計書 No A-5 連絡渡り廊下及び浄化槽下の杭本</p>	<p>⇒PC杭 Φ300-11m 16本です。</p>

<p>数・杭種・杭長をご指示ください。</p>	
<p>4-17) 冷却塔・冷温水発生機撤去について 図E-05 動力幹線・分岐及び弱電設備平面図 1階 冷却塔・冷温水発生機撤去とありますが基礎・付属配管等は撤去対象でしょうか？</p>	<p>⇒撤去対象外です。</p>
<p>4-18) 冷温水機・冷却塔の処分について 図M-05 空調換気設備 配管系統図、機器表 「冷温水機・冷却塔の処分は製造メーカー引き取り処分」とありますが産業廃棄物としての処分はしないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-19) 配管保温材エルボの撤去について 図M-05 空調換気設備 配管系統図、機器表 配管保温材エルボのアスベスト撤去レベルをご指示ください。</p>	<p>⇒レベル3です。</p>
<p>4-20) 建物残置部分内のダクト類の撤去について 図M-06 空調換気設備 1階平面図 「建物残置部分内のダクト類及び配管類は土間配管以外すべて撤去」とありますが図A-11の天井撤去範囲のみと考えるとよろしいでしょうか？</p>	<p>⇒機械・ボイラー室及び天井撤去の範囲内です。</p>
<p>4-21) 外壁タイルの撤去について 設計書 No A-10 外部仕上げ外壁タイル張り撤去等記載されていますが、タイルは先行撤去と考えるとよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒工程打合せによります。</p>
<p>4-22) 解体建物内について 残置物は無い物と考えるとよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-23) 機械式アンカーM12について 図A-20 付属棟接続口改修図、胸像詳細図 材質はスチール、溶融亜鉛メッキと考えるとよろしいでしょうか。 また、アンカー種類はグリップアンカーと考えるとよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>

<p>4-24) 胴縁受材の固定方法について 図A-20 付属棟接続口改修図、胸像詳細図 アンカー施工後、全ネジにてダブルナット、ワッシャーで固定と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-25) アンカーの埋込について 図A-20 付属棟接続口改修図、胸像詳細図 23) にてグリップアンカーとした場合、躯体への埋込は一般的な規格の50mmと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-26) ケミカルアンカーD13下向き施工について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 ケミカルアンカーD13下向き施工は、立上りH=945mmに対して被り45mmと想定し躯体からの出寸法900mmと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-27) ケミカルアンカーD13横向き施工について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 ケミカルアンカーD13横向き施工は、躯体からの出寸法40d=520mmと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-28) ケミカルアンカーD13の埋込について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 アンカー筋D13の有効埋込長は一般的な考え方の8d=104mmと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-29) ケミカルアンカーD13の接着剤について 図A-19 2階接続口撤去及び改修図 JCAA認定品のカプセル方式と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒はい。</p>
<p>4-30) アスベスト含有分析について 図A-05 建築工事特記仕様書(5) 1.1一般事項 <9.1.1'(e)>表より定性分析 設計書No A-2</p>	<p>⇒8検体(8種類の建材を示す)です。</p>

<p>試料数の合計が18検体となりますが、設計書 No A-2では、アスベスト含有試験費 8検体との記載があります。 分析検体数は、18検体を見積りに計上するとして宜しいですか。</p> <p>4-31) 部屋名について 図A-08 仕上表(2) 図A-12 2階平面図 図A-17 既存庁舎本館矩計図 仕上表(2)、2階平面図では「副町長室」と記載がり、既存庁舎本館矩計図では「助役室」との記載となっています。 「副町長室」としてよろしいでしょうか。</p> <p>4-32) 第1階段室、第2階段室の既存天井の仕上材について 図A-07~09 仕上表 図A-26 職員玄関廻り詳細図 図A-27 第1階段詳細図 第1階段室 RF：ミクライトAP吹付、第2階段室 3F：ミクライトAP吹付と記載がありますが、職員玄関廻り詳細図、第1階段詳細図（参考図）では、第1階段室 RF：バーミックス吹付、第2階段室 3F：バーミックス吹付との記載です。 共にバーミックス吹付と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>4-33) 設計書 No A-14からの6 アスベスト含有建材レベル1除去工事について 設計書No A-14~21 アスベスト含有建材レベル1除去工事に含まれる範囲は、図A-07~10 仕上表(1)~(4)より天井仕上材が「バーミックス吹付」及び「ミクライトAP吹付」部と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>5-1) アスベスト含建材レベル1除去の施工箇所をご指示ください。</p> <p>5-2) セキュリティゾーンは何か所設置と考えたらよろしいでしょうか。</p>	<p>⇒平面図が正です。</p> <p>⇒はい。</p> <p>⇒はい。</p> <p>⇒天井伏図の記載どおり ミクライトAP吹付及びバーミックス吹付箇所です。</p> <p>⇒17箇所</p>
--	---

以上